

ジャパングラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

5月度理事会報告

5月21日・22日ガレージ・セール開催 一年間お休みしましたガレージセールが戻って来ました

5月7日(土)行われた5月度理事会には9名の理事が参加され、下記の点について討議がなされました。

1) 当初から予定されていたバーリングゲームに於けるガレージセールについて北理事が中心となって5月21日(土)及び5月22日(日)の午前8時30分より午後3時まで2日間に亘って開催する事に付いて最終的な打ち合わせを行い、殆どの理事が手伝いに参加される事になった。過去数年間に蓄積された商品を今回のセールで一掃して当会の財政に寄与するこの催しに多くの会員及び友人が参加される事を期待する。

2) 最近世界各地で発生している地震に関連して当地カリフォルニア州最大のサンアンドレア断層(特に南カリフォルニア部分)が崩れる可能性が高くなって来ていると加州の地質学者の間で話題になっており、当会の会員にとってここで改めて地震災害対策の見直しを促す事が検討された。災害時に不可欠な飲料水、簡易食品、フラッシュライト、携帯電話、医療品、その他保温衣類等を再度チェックし、災害時に備えておく様心掛けておく事。(2面の関連記事参照)

3) 沖山会計理事から2016年3月31日現在(第一四半期)の会計報告があり Checking Account Balance = \$3,201.57 及び Money Market Account (MMA) Balance = 10,552.18 合計 \$13,753.75 が理事会にて承認された。

6月理事会は6月4日(土曜日)午後4時より予定。
場所はサンマテオ楢木マーケット2階。

事務局(大隅敏男)

Sale

昨年1年間お休みしました

ガレージ・セールを2日間にわたり開催します

日時: 5月21日(土曜日) 8:30 A.M. ~ 3:00 P.M.

5月22日(日曜日) 8:30 A.M. ~ 3:00 P.M.

場所: 2717 Trousdale Dr. Burlingame (下の地図参照)



二年ぶりの開催で係一同張り切っております、ぜひ会員の皆様も下記の2点に付いてご協力をお願いします。

- 1) 商品となる品物(使わなくなった物など)のご寄付をお願いします。(当日の会場への持ち込みも歓迎します)
- 2) 色々な掘り出し物も沢山あります。ぜひこの二日間の内で都合の良い時にお友達も誘って会場にお立ち寄りください、なかなか楽しいですよ。

お問い合わせは: 北哲也理事 (650) 697-4442 又は (650) 714-5958 まで

新会員紹介 リンジー・マリコさん

広島出身のリンジー・マリコです。

長年勤務していました、オークランドにあるコンテナターミナルを退職し、現在は、私の住んでいる町と、愛知県津島市との姉妹都市交流協会ではボランティアをしています。又、在米被爆者協会のメンバーとして、被爆者のお世話をさせて頂いています。

趣味はクラシック音楽の鑑賞です。以前はシーズンチケットなどを買ってよくコンサートに行っていました、今は、時々行っています。

趣味になるかどうか判りませんが、裏側の高い木に、毎年 White Tailed Kite (オジロトビ) が来て雛を育て、成長をしてゆくのを双眼鏡で観察する事を楽しんでます。

ジャパングラブには、講演会、勉強会で皆様のご意見などを参考にさせて頂く事と、皆様との交流を広げさせて頂く事を目的に入会致しました。どうぞ宜しくお願い致します。

リンジー マリコ

訃報 ジャパングラブ創立時からの元会員であり理事もされていた土屋英二さんが去る4月3日逝去されました。4月21日に開かれたメモリアル・サービスには、かつて土屋先生のもとで作られた「ジャパングラブ・コーラスグループ」のメンバーが大勢参加し、先生の好きだった「荒城の月」を合唱してお別れを惜しまました。



6月末が締め切りです「芽吹く」です
今回の兼題は

どうぞ振って応募してください、お問い合わせ及び応募作の送付先はシュミットさん迄

郵送: 1533 Fieldcrest Dr. Pleasant Hill, CA 94523

電話: 925-228-7170

電子メール: sakura_7170@yahoo.co.jp

再度「災害に対する心構え」を考える

この度の4月14日に発生した「熊本地震」では震源に近い益城町を初め大きな被害が出ておりますが、テレビのリポーターに答える被災者の言葉が印象的でした。曰く「地震のおきやすい地域に住んでいることは承知していたが、まさかここで起きようとは。。。」しかし、これは同じく大規模地震の発生が危惧される地域に住んでいる私達も「まさかここで。。。」と云う気持ちを持っているのではないのでしょうか、あるいは普段の生活の中で忘れてしまっているのではないのでしょうか。これを機会に再度「災害に対する心構え」を考えてみましょう。

防災グッズと非常持ち出し品

過去2回にわたって全会員に「防災グッズ」を配布して来ましたが、今回2013年7月以降に入会された会員の皆様「防災グッズ」の配布が決まりました。(準備が整い次第お届けします)

しかしこの「防災グッズ」に含まれている物だけでは十分とは云えません、ここに非常時に用意しておくと思われる品々のリストがあります、いざという時に備えて予め「非常持ち出し品」をまとめて準備しておきましょう。(右のリストでチェックしてみてください)

非常持出袋に全て入れ込んで置くことが出来れば一番良いのですが、貴重品や日常使用しているものなどはそうもいきません。袋に入れて保管しておくものと、いざというときにすぐ取り出して持っていく物を整理して置くことが大切です。後者についてはそのチェックリストを非常持出袋に入れておけば便利です。

さらに、コンピューター化の進んだ最近では沢山の大事なインフォメーションが保管されています、時々これらの大事なデータ内容をCDにコピーしておくことで災害でコンピューターが壊れてしまった時には役立つことでしょう。

「防災グッズ」の中身を確かめることと、時々(毎年定期的に)内容物の使用期限などを確認する(食料品、飲料水、乾電池など)、そしてこれらを肩に背負うリュックサック(持ち出し時に両手が自由に使えるように)に入れておく、ただしあまり重たくならない様に注意(男子で15kg、女子で10kg程度が目安です)ここに掲載したリストはごく基本的なものです。インターネット上で「非常持ち出し品」などについて沢山の情報が簡単に得られます、ぜひお調べ下さい。

災害発生時の対応

「防災グッズ」「非常持ち出し品」の準備と共に家族で被災した場合の避難計画を話し合っておきましょう、さらにお互いの連絡方法に付いても話し合っておきましょう。ジャパンクラブの緊急連絡網リストなどもコピーを作って持ち出し品に加えておくと役立ちます。

地震は何時起こるか判りません、家に居る時、買い物中、乗り物の中など、さらに昼間、夜間、夏、冬。。。それぞれに対応が違ってくることでしょう。

一番そこにいる時間の長い「自宅」、もう一度「大きな地震が起きたら」という視点で見直してみましょう、自宅の中で安全と思われる場所、家具類の固定、逃げ道の確認、ガスや電気・水の始末など。。。。

今回は予知が難しく、被害の大きな地震を中心にまとめてみましたが、地震の規模によってその対応も様々です、それぞれの生活環境に依っても対応は異なります、これを機会にまた会員で集ってお互いの意見、疑問、不安に思っていることを話し合う機会を作りたいと思います。

非常持ち出し品チェックリスト

貴重品

- 現金(小銭を含む)
- 車や家の予備の鍵
- 銀行口座、生命保険などの契約番号など
- 健康保険証
- 身分証明(運転免許証、パスポートなど)

食料など

- 飲料水(1人一日1ガロンとして3日分程度)
- 非常食(加熱などしなくても食べられる物)

医薬品

- 常用薬(特に医者からの指示で使っている薬など)
- 絆創膏(配布した防災グッズに含まれています)
- ガーゼ、包帯など(防災グッズに含まれています)
- 消毒薬、ウェットティッシュなど

情報収集用品

- 携帯電話(充電器も忘れずに)
- 携帯ラジオ(予備の電池も用意しておく)
- 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先
- 筆記用具(ボールペンやマジックなど)

便利な物

- 防災ずきんかヘルメット、マスク
- 懐中電灯(予備の電池も用意しておく)
- 笛など(音を出して救助者に居場所を知らせる)
- 万能ナイフ、カッターナイフなど
- ビニール袋
- 軍手、革手袋
- 雨具(レインコートなど)
- マッチ、ライター
- ハサミ
- 裁縫道具
- 紐、ロープなど
- 毛布、タオルなど
- 着替え(下着なども含む)
- トイレ用ペーパー

その他に

- 乳幼児の居る場合は、粉ミルク、哺乳瓶など赤ちゃんに必要な物
- ペットを飼っている場合、ペットフードなど必要な物
- その他ご自身の環境に合わせて必要と思われる物を準備してください